

平成30年6月15日

保護者各位

春日井市立鳥居松小学校長

渡 辺 徹

アタマジラミ発生について（お願い）

日頃は、学校保健活動にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、本校では、今週に入り、児童の頭髮にアタマジラミの発生（寄生）が見られました。

アタマジラミは、タオルや帽子、くしの共用等で伝播したり、頭を付き合わせることで、伝播したりします。毎日、入浴や洗髪をしている人も、誰でも寄生する可能性があります。

また、アタマジラミの駆除は、発生した集団が一斉に行ってこそ、効果が得られます。

ご家庭でも、洗髪時にお子さんの頭を見ていただけると安心です。もし、アタマジラミが発見された場合は、医療機関もしくは薬局にご相談いただくとともに、学校にお知らせくださいますようお願いいたします。

アタマジラミとは・・・

アタマジラミは、ヒト以外の動物に寄生することなく、一生ヒトに寄生して生活します。成虫2～4ミリの大きさで、ヒトから離れた場合の生存期間は、だいたい7～72時間。卵・幼虫・成虫とも60～70℃の熱湯で死滅し、アイロンをかければ衣服についているものも死滅します。

卵は1ミリ前後の大きさで、耳のうしろやえりあしに付着していることが多く、また、頭髮の根本に近い方にも多く見られます。卵は、毛に強く固定されており、簡単には落ちません。そこがフケとの大きなちがいです。

伝播様式は、ヒトからヒトへ直接伝播するほか、ベッド・寝具・シーツ・枕カバー・帽子・タオルなどを介して伝播します。

アタマジラミは誰の頭にも住む（寄生する）可能性があります。毎日、髪を洗っている人でも、どこかで髪に付いてきた成虫や卵が髪に残り、アタマジラミが増えてしまうことがあります。

なお、防除方法については、医療機関もしくは、薬局にご相談ください。

